



# 上川井だより

令和3年6月30日  
横浜市立上川井小学校  
校長 山崎 真紀子

## 7月号

### 想像が形となって

雨が続くと晴れが恋しくなりますが、ふと花壇の花々を見ると、雨のしずくを光らせて色鮮やかに咲き誇っています。そんな様子に雨もいいなと感じる今日この頃です。子どもたちは、挨拶週間の取組を通して気持ちの良い笑顔で挨拶する子が増えました。まん延防止重点措置の再延長で、教育活動も今しばらくは自粛しながらの実施となりますが、学びが深まるよう工夫を重ねて参ります。保護者の皆様には、日頃のご協力ご理解に感謝しております。

さて、「明日の天気」「電車の時刻」「宅配便の手配」「昨日の感染者数」・・・4つの単語を並べましたが、何を連想されますか。どれも、日頃スマートフォンを使って調べたり頼んだりしている方は多いのではないのでしょうか。もしかしたら、「エアコンの電源」や「定期券」「家の鍵」もという方もいらっしゃるかもしれません。わたしたちの生活にいまやICT技術は欠かせない物となっています。先月の情報モラル教室で聞いたところ、自分専用のスマートフォンを持っているという子もいました。

そうした中で、GIGAスクール構想として一人一台のタブレットが配備され、学習のあり方も変わりつつあります。本校は少人数のため、これまでもタブレットを使う学習の時は一人一台確保できていましたが、学習が終わるときには記録を別の媒体に移してログアウトする必要がありました。これからは、自分専用として使用できるため、学習履歴を残していくことが可能になりました。調べ学習の途中で時間がきても、タブレット上にサイト情報を残しておくことができ、自分の書いたメモに紐付けて管理することもできます。複数の情報をタブレット上で見比べたり、取舍選択したりすることも容易で、何度も書き直す手間も少なくてすみます。図やグラフを活用したり、写真をコマ撮りしてアニメーションを作成したり、発表の幅もぐんと広がります。

本校では、今月下旬から「GIGA開き」として、各クラスをまわり、一人一人に免許証を渡して導入学習に臨みました。「いよいよだ。わくわくする。」「すごい。かっこいいな。」タブレットを手にした子どもたちは、一様に笑顔で新しい学びの始まりに大きな期待を持ったようでした。

まずは、ビデオを視聴し、どんな学習場面に使えるか考えました。発表、調べ学習、意見交換、写真の活用、プログラミング、作曲・・・ビデオの中で紹介された活動を挙げていきます。その後、自由にタブレットに触れる時間も取り、一年後、どんなことができるようになりたいか目標について話し合いました。「算数の発表で使ってみたい。」「調べ学習がしたい。」「プログラミングで何かを動かしてみたい。」「音楽を作りたいな。」夢は膨らみます。細かなルールは、使いながら自分たちで作っていきます。一年後の目標を具体的にもって、タブレットを活用できる学習を進めていきたいと思っています。

青いネコ型ロボットのポケットから道具が出てくるように、タブレットがすべてを解決してくれるわけではありません。それでも、学びたい意欲を喚起し、互いの意見を交流し思考を深め繰り返し粘り強く取り組む姿勢を育む、それらの助けとしてタブレットが活用できるよう授業改善に取り組んで参ります。

子どもたちが思い描くことが形となる日を共に創って参りたいと思います。